

北海道“小清水町”『地域おこし協力隊』募集要項

『小清水町』は北海道の東北部、オホーツク海に面したオホーツク総合振興局管内東部を占める斜里郡にあり、郡内の西部に位置しております。周囲は、北がオホーツク海に面し、東は斜里町と清里町、西は網走市と大空町、南は弟子屈町とそれぞれ接しており、本町は1000mの藻琴山からはじまり、林、森に続き、循環型農業を営む農地、濤沸湖、原生花園、オホーツク海まで揃った恵まれた土地であります。

町の総面積は286.89平方キロメートルで、そのうち森林は総面積の約5割、畑が約4割を占め、豊かな自然環境や広大な食糧供給基盤に恵まれています。特に、ラムサール条約に登録され数多くの野鳥が観察できる「濤沸湖」、7月には町花であるエゾスカシユリやエゾキスゲ、ハマナスなどの花が咲きそろう「小清水原生花園（網走国定公園内）」、日本最大のカルデラ湖・屈斜路湖の北壁にそびえる「藻琴山」など貴重な自然資源を持つまちであります。

このような中、平成30年に本町の浜小清水地区に mont-bell ストアを併設したツーリストセンターを設置し、来訪者は開設前に比べ25万人ほど増加し、新たな賑わいを創出しております。

現在、この来訪された皆さんを市街地に誘客すべく、「防災拠点型複合庁舎」を令和5年の供用開始を目指し、建設を行っており、この庁舎は誰もが「わたしの居場所」として利用していただけるよう「フィットネスクラブ、コインランドリー、カフェ」などを併設する計画となっております。

また、本町の基幹産業である農業は「小麦」「馬鈴薯」「てん菜」「大豆」をはじめ、アスパラ、人参などの多くの作物を生産しており、近年は、「馬鈴薯」から製造される「でん粉」を求め、福岡県の企業が本町の学校跡地に地域素材を活用した特産品製造工場を整備されるなど、特産品開発に注力しているまちでもあります。令和4年4月には農業担い手の育成と特産品開発製造を担うアグリハートセンターも完成し、環境は十分整いましたが、多くの人に小清水町を知って、来て、体験して、好きになって、住んでいただくための仕組み作りが完成していない状況にあり、町外目線でのまちづくりの発想を求めています。

そこで、地域にある豊富な農地、自然を活かすべく、町が推進する次の事業を実践し、新たな発想の基による「地域暮らし」をまちと創造して下さる『地域おこし協力隊』の隊員を募集します。

1. 協力隊員の名称、人数

観光・まちづくり創造支援員 2名

2. 各協力隊員の主な活動内容等

○産業・観光連携支援員（町産業課付） 1名

・産業課所管事業（主に商工観光係）の実施を通じた観光連携企画の立案

産業課商工観光係所管事業

観光協会連携事業

J A 農業祭 & 収穫感謝祭（協力）

mont-bell フレンドフェアなど

誘客促進事業（農業体験ツアーやバードウォッチングツアーなど町内アクティビティを活用したツアーの企画立案を観光協会と一緒にいきます。）

原生花園風景対策事業（火入れ、外来種除去など）

オホーツクSEA TO SUMMIT（実行委員会事務局）

ふるさと祭り（じゃがいもフェスティバル）（実行委員会事務局）

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト事業

地元特産品の物販イベント参加・協力（年間 4～5 回）

サイクルアドベンチャー事業（北見市・美幌町・大空町・網走市と共に自転車を活用したイベントを行います。）

JR 釧網線観光 PR 事業（JR 北海道が運航する観光列車の受入イベント実施）

観光施設整備事業（浜小清水・止別エリア、もこと山エリア）

町内観光情報 PR 事業

- ・こしみずファン作りに係る関係機関との連携構築の推進
- ・その他小清水町を知り魅力を発掘していただくため、産業課が担当する各種事業に参加していただきます。

○観光・まちづくり創造支援員（（一財）観光協会へ派遣） 1 名

- ・観光協会事業の実施及び町産業課関係事業への協力

観光協会事業

情報発信・プロモーション事業

観光PR活動（SNS、各種パンフレット動画作成など）

ビジターセンターギャラリーの活用（ワークショップ、トークショーなど）

町外イベント出店・協賛（mont-bell フレンドフェア、ジャパンバードフェス、日本鳥学会ほか）

誘客促進事業

町内観光施設、飲食店、宿泊施設との連携事業の実施

アウトドアアクティビティ受け入れ体制構築事業

ガイド人材育成、広域連携事業

収益事業

物販企画製作販路拡大

アウトドアアクティビティガイド事業

（バードウォッチング、サイクリングなど）

レンタサイクル事業

(町内 3 箇所のステーション運営)

観光施設管理業務 (浜小清水キャンプ場・フレトイ展望台・止別駅前公園)

ツーリストセンター指定管理運営事業 (観光案内・施設管理)

主催・協力事業

オホーツクSEA TO SUMMIT (実行委員)

ふるさと祭り (じゃがいもフェスティバル) 出店

J A 農業祭 & 収穫感謝祭 (主催)

3. 募集対象

(1) 心身ともに健康で誠実に職務ができる方

(2) 年齢 20 歳以上、概ね 40 歳までの方 (性別は問いません)

(3) 3 大都市圏内都市地域、3 大都市圏外都市地域、3 大都市圏内一部条件不利地域、3 大都市圏外一部条件不利地域をはじめとする都市地域等 (過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村) に在住で小清水町に住民票を移すことが可能である方
ただし、「地域おこし協力隊員」であった方 (同一地域における活動 2 年以上、かつ解嘱 1 年以内) で、かつては 3 大都市圏を始めとする都市地域に在住していたことのある方も対象とします。

※対象地域については総務省の地域おこし協力隊員の地域要件に準じます。

(4) 地域にとけ込み、地域の自治会活動に参加できる方

(5) 任期終了後は、小清水町で起業、または観光協会などに就業し定住する意思のある方

(6) 普通自動車免許を取得している方 (マニュアルが望ましい)

(7) 文書作成 (ワード等) ・表計算 (エクセル等) ・E メール等を使用でき、SNS ・ブログなどの情報発信ができる方

4. 募集人員 各 1 名

5. 勤務地 小清水町産業課
小清水町観光協会

6. 身分・任期

(1) 会計年度任用職員 (小清水町地域おこし協力隊要綱に基づき町長が任用します。)

(2) 令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで。

ただし、業務・活動状況を勘案し、1 年毎に更新し、最長 3 年まで任期を延長します。

7. 勤務日及び勤務時間

(1) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日までの 5 日間を基本とします。

ただし、業務内容により変更する場合があります。その場合は振替対応とします。

(2) 勤務時間は、原則として8時45分から17時30分（休憩時間を除き1日当たり7時間45分）となります。

8. 待遇・福利厚生等

(1) 賃金（月額） 177,000 円 ※支払日は毎月21日とします。

(2) その他

- 健康保険・厚生年金・雇用保険等に参加します。
- 年次有給休暇は、1の年につき原則10日とします。
- パソコンや活動車は予算の範囲以内で貸与します。
※生活や通勤のための自家用車はご用意ください。
- 公務や活動、研修に必要な旅費等は町が負担します。
- 業務に支障がない範囲での兼業は認めます。
- 光熱水費及び生活備品等は自己負担となります。

9. 選考

(1) 選考方法

・一次選考（書類選考）

提出された書類による選考を行い、提出期限のおよそ1週間後を目途に応募者全員に結果を文書にて通知します。必要に応じて電話等で問い合わせを行うことがあります。

・二次選考（面接試験 zoom を予定）

第一次選考の合格者を対象に、面接を行います。詳細は、一次選考の合格者に文書にてお知らせいたします。

・三次選考（面接試験 会場：東京、札幌を予定）

第二次選考の合格者を対象に、面接を行います。詳細は、二次選考の合格者に文書にてお知らせいたします。※面接に要する交通経費等は自己負担とします。

(2) 選考結果の通知

合否については、二次選考（面接）後1週間後を目途に文書で通知します。

(3) 着任予定日

着任は令和 5年 4月 3日（月）

10. 応募及びお問い合わせ先

〒099-3698 北海道斜里郡小清水町元町2丁目1番1号

小清水町役場 総務課 担当：窪田

TEL (0152) 62-4470 FAX (0152) 62-4198

E-mail:kouseimgr@town.koshimizu.hokkaido.jp